

ペア100円!?! JR貨物新賃金回答(3/26)

超低額回答弾劾

JR貨物は再回答せよ!

三月三日、怒りの春闘第二波ストライキへ

昨日(3月26日) JR貨物当局は、4月以降の新賃金について回答をおこなったが、内容は何と「ペア一〇〇円(〇・〇三%)、定昇込み五・九二円(一・八八%)」という断じて許すことのできないものだ。百円玉ひとつで我慢しろというのだ。冗談じゃない! 絶対に許せない! われわれはこの回答を怒りを込めて弾劾する!

経営危機は、分割・民営化の帰結!

「6期連続の経常赤字」は、一体何よって生みだされたものか。国鉄分割・民営化の結果に他ならない。そもそも分割・民営化体制という仕組みは鉄道貨物輸送を潰すこと、「安楽死」させることを想定してつくられた仕組みだ。JR貨物の経営破たんはその当然の帰結に過ぎない。貨物会社は今回の回答のなかで、「全社員が現状に対する正しい認識を持つことが不可欠」などと言うが、正しい認識に欠けているのは、現在の危機が分割・民営化の結果生じたことを頑なに否定しつづける経営陣に他ならない。

ならない。彼らがこの間やってきたことは、徹底した賃金の抑制と要員削減によって、全ての犠牲を現場で汗して働く労働者におしつけることだけであつた。それもどこまで行っても抜けでることのできないトンネルのような状態のなかでそれが強制されつづけているのだ。まさに無責任の極み。こんなことはもうこれ以上絶対に許せない! 経営陣は総退陣せよ!

資本の先兵! 貨物労働者!

さらに許せないのはJR貨物労働者・革マルだ。彼らは今回の「ペア一〇〇円」という回答を唯々諾々と受けて裏切り妥結しようとしている。それどころか、会社の手先となつて一カ月前から「ペアゼロでも思い切つて我慢せよ」(貨物委員長・緒方)と発言し、会社のペアゼロ攻撃の露払いをしてきたの彼ら革マルだ。この間、我慢すれば危機が突破できるかのようなペテンを流布し、どのような超低額回答も、どれほど無謀な合理化・要員削減計画

も全て率先して妥結し、それを現場に強要してきたのもすべて貨物労働者・革マルである。

国鉄分割・民営化! 20万人首切り攻撃の手先となり、今も自らの保身のためだけに、資本の理不尽な攻撃を労働者に強制する最悪の先兵として悪業をはたらきつづける連中を許すな! もうこれ以上我慢はできない。怒りの声を結集してJR貨物労働者を解体しよう。

再回答せよ!

われわれは怒りを込めて、JR貨物に対し再回答を要求し、3・30春闘第二波ストライキに決起する。ペア一〇〇円の超低額回答弾劾! JR貨物は3・26回答を撤回し、直ちに再回答せよ!

JR貨物の回答(3/26)		率	金額
定昇	一・八五	五・八二	二
ペア	〇・〇三	一〇〇	
計	一・八八	五・九二	二